

迎春



明けましておめでとうございます。市民の皆様には、希望に満ちた新春をお迎えのことと、心からお喜び申し上げます。さて、天草市が誕生して早くも8回目の新年を迎えました。合併以来、市民の皆様との協働により「日本の宝島」天草の創造の基本理念のもと、誰もが誇りに思い、安心して心豊かに暮らせる島づくりに全力で取り組んでまいりました。しなしながら、この8年間で日本の情勢は大きく変わってきました。増加を続けてきた日本の人口も平成22

年をピークに減少に転じ、40年後には1億人を割り込むとの推計が出ています。これまでの人口増加時代のまちづくりから、人口減少時代へのまちづくりへの転換が必要になってきます。少子高齢化、過疎化などの課題に対応しながら、100年後を見据えた持続可能な天草市をつくるために、今、真剣な取り組みを始めておかねばならないと考えています。

日本経済は、景気が上昇しつつあるといわれていますが、本市を含め地方経済はまだ厳しい状況にあります。今年も引き続き、天草地域経済の活性化と雇用の促進を目指し、まい進してまいいる覚悟でございます。さらに、天草市としての一体感を醸成し、「日本の宝島」の実現に向けて力を尽くしてまいりますので、いつそうのご支援、ご協力をお願い申し上げます。

新しい年が、皆様にとりまして幸多い年となりますようご祈念申し上げます。いさつといたします。

行政のあり方も地方分権や道州制などが論議されています。しかし、どのような時代、制度になろうとも天草は天草であり、天草での生活を守っていかなければなりません。20万島民といわれた天草も、現在ではその力はありません。今後とも人は減り続けると予測されていますが、わが天草には豊かな海や山、美味しい食材、心躍る歴史があります。天草には都会にないものが豊富にあるのです。ジオパークや世界遺産登録を目ざす観光資源などと農林水産業をつなぎ、稼げる産業として育て、都会志向の生活スタイルから自然と共生する島暮らしの発信、さらに、地域の見守りを地域の「絆」として安心・安全に生活できる天草をさらに深める必要があります。

「言うは易く行うは難し」。課題は多くありますが、私たち市議会も住みよい社会づくり地域づくりに取り組んでまいりる覚悟です。今後ともさらなるご理解とご支援のほどをお願い申し上げます。新年のごあいさつとします。

- 議員
- 池田 次人
 - 北野 鋼一
 - 浜崎 昭臣
 - 江浦 政巳
 - 吉川 徳澄
 - 本田 武志
 - 大塚 基生
 - 楠本 千秋
 - 脇島 義純
 - 松江 雅輝
 - 田中 茂
 - 赤木 武男
 - 鎗光 秀孝
 - 中村 三千人
 - 船辺 修
 - 蓮池 良正
 - 若山 敬介
 - 勝木 幸生
 - 宮下 幸一郎
 - 中尾 友二
 - 古賀 源一郎
 - 浜崎 義昭
 - 黒田 忠広
 - 奈良崎 利幸
 - 福岡 啓子
 - 濱洲 大心
 - 鶴戸 継啓

自然と共生、豊かな島づくりを

天草市議会議長

池田 裕之



100年後を見据えた持続可能な天草市へ

天草市長

安田 公寛

明けましておめでとうございます。市民の皆様には、希望に満ちた新春をお迎えのことと、心からお喜び申し上げます。さて、天草市が誕生して早くも8回目の新年を迎えました。合併以来、市民の皆様との協働により「日本の宝島」天草の創造の基本理念のもと、誰もが誇りに思い、安心して心豊かに暮らせる島づくりに全力で取り組んでまいりました。しなしながら、この8年間で日本の情勢は大きく変わってきました。増加を続けてきた日本の人口も平成22

年をピークに減少に転じ、40年後には1億人を割り込むとの推計が出ています。これまでの人口増加時代のまちづくりから、人口減少時代へのまちづくりへの転換が必要になってきます。少子高齢化、過疎化などの課題に対応しながら、100年後を見据えた持続可能な天草市をつくるために、今、真剣な取り組みを始めておかねばならないと考えています。

老岳山頂（有明町）からの眺望（12月7日撮影）



市民の皆様
あけまして
おめでとうございます

- 天草市議会
- 議長 池田 裕之
 - 副議長 平山 泰司
 - 市長 安田 公寛
 - 副市長 鶴田 謹一